

富山大学双六山岳会 双六診療所が人命救助で表彰

富山大学双六山岳会（代表：黒田敏 脳神経外科学教授）は、登山の大衆化に伴い山岳事故から登山者の安全を図ることを目的として、夏季期間に双六診療所（岐阜県高山市上宝町双六小屋敷地内）を開設している。昭和 55 年の開設から今年で 33 年となる。本学医師、OB や本学関係病院医療従事者、学生等で編成した診療班によりボランティア診療を行っている。

今回、転倒により頭部打撲した登山者を、双六診療所の診療班が悪天候の中でビバークしながら診療を行い、天候の回復を見てヘリコプター発着場所まで担ぎ下ろし、患者は無事長野県の病院に搬送された。搬送先の病院で頭蓋骨骨折と診断されて手術を受け、現在は無事社会復帰している。

確定診断が困難な状況下での適切な初期治療が人命救助となったとして、双六診療所が長野県県警から感謝状を授与された。

